

事業概要書

施策： 林業の振興

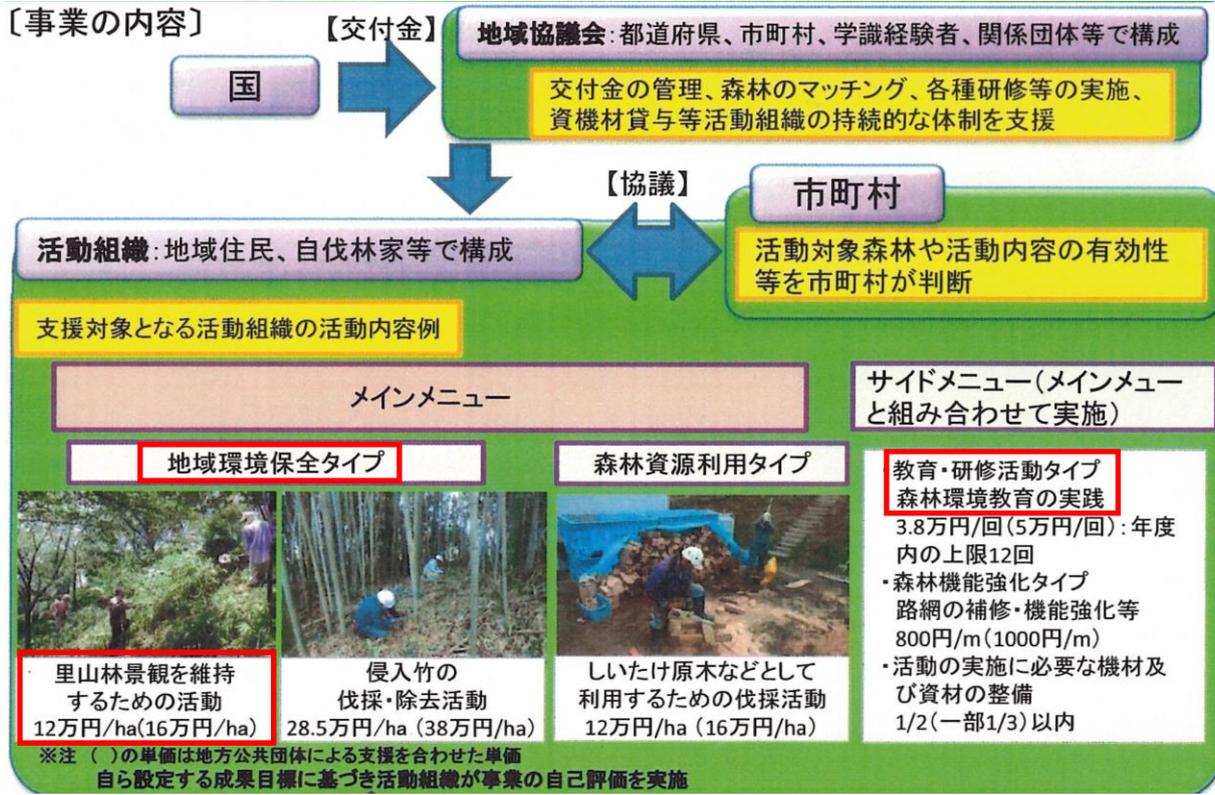
《 》は、29年度の当初予算

事業名： 森林・山村多面的機能発揮対策事業	新規	予算額	214 千円
		《 》	《 》
財源内訳		国庫支出金	千円
		県支出金	千円
		地方債	千円
		その他	千円
		一般財源	214 千円

【事業の概要・目的・対象】

事業の概要とすれば、里山林景観を維持するための活動及び教育・研修活動を行う。
29年度は地域住民及び自伐林家等で構成する活動組織が里山林の保全として雑草木の刈払い・集積、桜等の植栽、風倒木・枯損木の除去を行うと共に教育・研修活動として森林施業技術の向上に向けた技術指導、森林資源の利活用などの森林環境教育の実践を森林教育を専門とする学識経験者等が講習会を行う。対象の団体はおおむら里山村づくり委員会とすずたの明日を考える会の2団体です。

【事業の内容】



【背景】

森林の有する多面的機能の発揮には、適切な森林整備や計画的な森林資源の利用が不可欠だが、林業の不振、山村地域の過疎化・高齢化により森林の手入れを行う地域住民が減少し、適切な森林整備等が行われていない個所が見られる。

担当課	産業振興部 農林水産整備課	問合せ先	0957-53-4111(内線254)
-----	---------------	------	---------------------

事業概要書

【活動指標】

指標名		単位	H29	H30	H31	H32	H33
①	里山林景観を維持するための活動面積	目標値 ha	9.7	9.7	9.7	9.7	9.7
②	森林環境教育の実践回数	目標値 回	3	3	3	3	3

【成果指標】

指標名		単位	H29	H30	H31	H32	H33
①	継続的に参加できる会員の割合	目標値 %	70	70	70	70	70
②	継続的に森林環境教育に参加できる会員の割合	目標値 %	70	70	70	70	70

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費				214	214	214	642
国庫支出金							
県支出金							
地方債							
その他							
一般財源				214	214	214	642
人件費				218	218	218	654
職員				0.03人	0.03人	0.03人	0.09人
時間外勤務							
嘱託員							
フルコスト				432	432	432	1,296

妥当性	多面的事業の趣向に即した支援対象となる活動組織の活動に支援するために、市の関与は必要である。
有効性	里山林を本来の姿に戻すために、多面的事業を用いて各活動組織に支援を行い森林整備を行うことは、適切な森林の姿に戻すことに繋がり十分に有効性が認められる。
効率性	国が定めた長崎県の地域協議会へ交付金を負担する事業であり、市の負担は事業費の1/8となっている。

1次評価	各活動組織に対して支援を行うことは、本来の森林の姿に戻すことに繋がり妥当である
2次評価	担当課の提案のとおり、事業の実施を認める。ただし、成果指標を再検討すること。